



Sonica Instruments
SHAKUHACHI
Virtuoso Japanese Series
User's Manual

この度は Sonica Instruments Virtuoso Japanese Series SHAKUHACHI を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。

Sonica Instruments Team

はじめに

尺八とは

「真竹」という種類の竹の根元から7個の節を含むようにして作られている、とてもシンプルな和楽器です。息を吹き付ける音や息づかいまでも包み込む幽玄な音色は、海外においてもその魅力に関心が集まっています。基準管の長さが一尺八寸(約54.5cm)であることから尺八と呼ばれ、長短一寸刻みで半音ずつ異なる様々な管があります。リードはなく、管の外側を斜めに削り落として作った歌口に息を直接吹きつけて音を出します。一般的に指孔は前面に4つ、背面に1つあり、指孔の開閉だけではなく、息の圧力、角度の変化によって出される多彩な音色が魅力で、近年ではクラシックやポップミュージックなど様々な音楽に取り入れられることも多くなりました。

Virtuoso Japanese Series

SHAKUHACHI について

朗々と唄い上げる節回し、深くも繊細な息づかい、余白までも聴かせる日本の音の美学。そんな尺八の魅力をリアルに再現する事を目標に開発されました。尺八演奏家による珠玉の演奏を丁寧にキャプチャーし、あらゆる奏法を網羅。音程ごとに細やかに収録しました。一般的な一尺八寸のD管と、低域をカバーする二尺三寸のA管を妥協のないレコーディング、Kontaktプログラミングによって、まるで目の前で演奏されている様な、最も尺八に近いソフトウェア音源として完成しました。ぜひSHAKUHACHIをたくさんの音楽の中でお使いください。

そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品をお使いになっていただくことが、皆様が本物の尺八の魅力を知るきっかけになれば幸いです。

製品の特長

尺八特有の演奏表現を生き生きと再現する、邦楽管楽器の発音メカニズムとインターフェースを開発

演奏が途切れることなく奏法の変化が可能なキートリガーコネクションを搭載

管楽器である尺八は、ロングトーンからユリ(ビブラート)、ユリから激しい息づかいにするなど、音を持続しながら刻々と奏法を変化させながら演奏します。このような尺八ならではの表現を実現するために新たにキートリガーコネクション機構を開発しました。キートリガーコネクションは演奏中に割り当てられた鍵盤を弾くだけで多彩なユリ(ビブラート)、スフォルツァンド、ムラ息、打ち&押し、指づかい、玉音(たまね)へと、ごく滑らかにアーティキュレーションを接続することができます。この動作は鍵盤を押している間は任意のアーティキュレーションへ何回でも接続することができ、まるで生きた楽器のように飽きることなく演奏することが可能です。

豊富なアーティキュレーション、5つのフレーズバンク、息継ぎ音を収録

縦ゆり、横ゆりなどのビブラート、スフォルツァンド、多数のムラ息表現、玉音(たまね)、コロコロ、カラカラなどをはじめとする25のアーティキュレーション、多彩なレガート奏法、音階上に用意されたショートインプロビゼーションなど、あらゆるアーティキュレーションを網羅し、それらをキースイッチでコントロール、MIDI鍵盤上で表現力豊かなリアルタイム演奏が可能です。

高精細な24bit、96kHzのマルチマイク収録

様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用し、高精細な24bit、96kHzでレコーディングされました(製品では24bit、44.1kHzで収録)。

製品ではDirectMic、OverheadMic、RoomMic、StereoMixの使いやすい4種類のマイキングでミキシングが可能です。

ブロウコントロール

音が出ないリードの息音のみの状態から力強い実音までコントローラーとアフタータッチでコントロールできます。

サンプルベースでありながらも、滑らかでダイナミックな息づかいを表現することができるため、さながらウィンドコントローラーのような感覚で鍵盤演奏が可能です。

オルタネート・レガート奏法機能

レガート演奏時、上昇音と下降音に対応するレガート音を自動で生成。尺八特有のレガート音を再現します。

アタリレガート奏法機能

レガート演奏時、音程が変わる瞬間に指づかいで音程をジャンプさせる「アタリ」のついたレガートを表現可能です。

押し、打ち奏法機能

ひとつの吹き音の途中で速い指使いを加えてアクセントやこぶしをつける押し、打ちを自由に加えられます。

スケールチューニング機能

尺八の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチューニングできます。邦楽器本来のスケールピッチや各演奏者固有のピッチ感覚を使用することができます。設定した値はもちろん保存して使うことが可能です。

幅広い音域をカバーする一尺八寸と二尺三寸のハイブリッド化

代表的な一尺八寸のD管の尺八(D3-G6)と共に、低域をカバーする二尺三寸のA管(A2-B4)のサンプルを収録しており、G2からB4までA管のカバー音域を調整することができます。これにより2種類の楽器間のキャラクターバランスを調整することが可能です(ロングトーン、タンギング、レガート奏法のみ)。

NKSに対応

NKSに対応し、KontaktPlayer/Kontakt (ver.5.7.3以上)/KOMLETE KONTROL上で使用することができます。KOMLETE KONTROL キーボードなどNKS対応ハードウェアとの連携時には、音色を素早くプレビューしたり、ハードウェアのノブやコントローラーをフル活用することができます。

製品仕様

Native Instruments KONTAKT 5.7.3以上

KONTAKT PLAYER 対応

NKS 対応

動作環境

MacOSX 10.10以降

Windows 7,8,10

Intel Core2 Duo または AMD Athlon64 X2

Mac、Windowsともに4GB RAM(16GB推奨)

データ容量:NCW約5.71GB相当(WAV約11.4GB相当)

- ・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments KONTAKT 又は KONTAKT PLAYER5.7.3以上が必要になります。
- ・製品のインストールには5.71GB以上のディスク空き容量が必要です。
- ・PC環境、動作環境はNative Instruments KONTAKT 及び KONTAKT PLAYERの推奨動作環境に準じます。
- ・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速なCPUと、余裕のあるRAMメモリーを搭載したコンピュータに製品をインストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。

必要な MIDI コントローラー

サステインペダルを用意することで、より SHAKUHACHI の機能を最大限に生かし、リアルな演奏を再現出来ます。

Sustain Pedal CC#64

よりリアルな演奏を可能にするために新たに開発された Key Trigger Connection 機能の ON-OFF に使います。

キースイッチで既に選ばれているアーティキュレーションから多彩なユリ (ビブラート)、スフォルツァンド、ムラ息、打ち & 押しの指づかい、玉音 (たまね) へと、ごく滑らかにアーティキュレーションを接続することができ、よりエモーショナルな演奏が可能になります。

Quick Reference to SHAKUHACHI (PDF) を利用すると便利です。

尺八には特有の演奏方法、用語があるため、それらを和名とともに簡単にまとめた同 PDF を見ながら作業することをお薦めします。

製品をお使いいただくにあたって

本製品をお使い頂くには NATIVE ACCESS アプリケーションで「**シリアルコードの登録**」と「**ライブラリデータのダウンロード**」を行う必要があります。なおインストール作業の詳細な操作や最新の情報は [Sonica Instruments のウェブサイト](https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/) でご確認ください。

1. NATIVE ACCESS のインストール

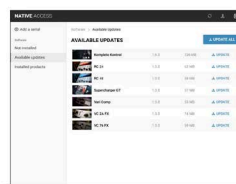
※ NATIVE ACCESS をすでにお使いの方は、この操作は不要です。

Native Instruments 社の WEB サイト (<https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/>) よりお使いのパソコン OS に合わせた「NATIVE ACCESS インストーラー」をダウンロードし、以下の手順でインストールを行ってください。



EVERYTHING IN ONE PLACE

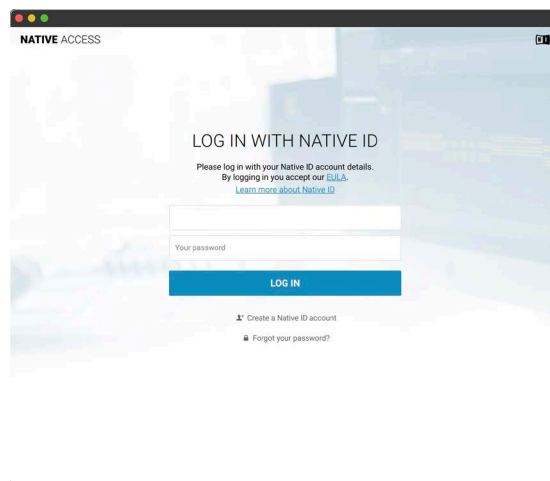
- ▶ 最も簡単な方法で、全ての音楽制作ツールを使用可能な状態にします。
- ▶ ソフトウェアのダウンロード、インストール、アクティベート、アップデートを総合的に行うことができます。
- ▶ 製品管理が統合化され、音楽制作により集中することができます。



2. NATIVE ID でログイン

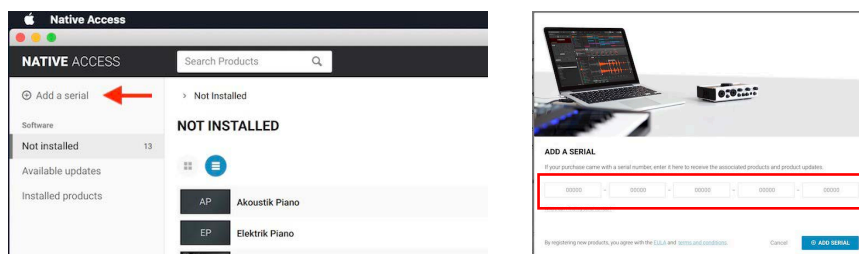
インストールした NATIVE ACCESS を起動してログインします。

NATIVE INSTRUMENTS のアカウントをお持ちでない場合、画面内の「Create a Native Instruments account」をクリックし、アカウント作成画面を開き、必要事項を入力してアカウントを作成（無料）してください。

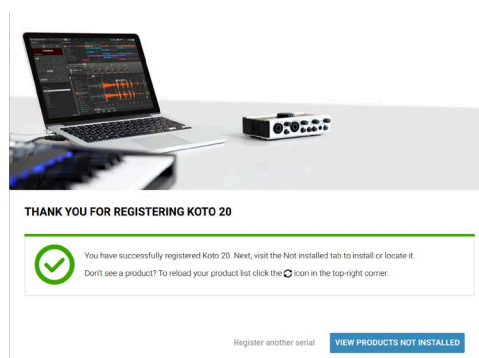


3. シリアルコードの登録

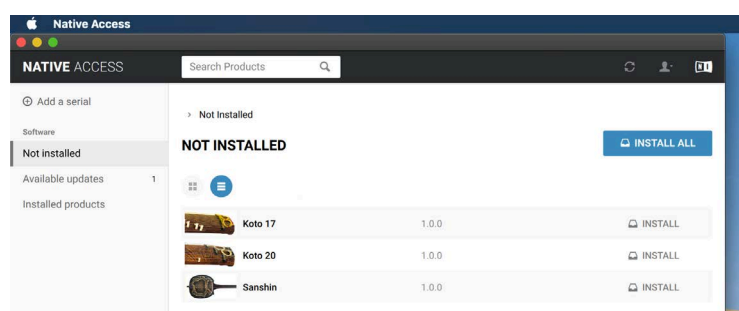
NATIVE ACCESS を起動し、画面左上にある「Add a serial」ボタンをクリックして表示されるウィンドウの赤枠内に、製品購入時に発行されたシリアルコードを入力します（シリアルコードは、購入時に E メールでお送りしています）。



ADDSERIAL ボタンをクリックすると、製品のシリアルコードが登録されます。画面内に表示される「VIEW PRODUCTS NOT INSTALLED」ボタンをクリックし、インストール画面を開いてください。



Not Installed リストに登録した製品が追加されます。インストールしたい製品名の右側にある「Install」ボタンをクリックすると、ダウンロードとインストールが開始されます。



以上でライブラリのインストールは完了です。

ダウンロードの完了後に KONTAKT/KONTAKTPAYER を起動すると、画面左側の Libraries タブに自動的に製品が追加されます。同様に、KOMLETE KONTROL でも使用することができます。

製品の基本概念

SHAKUHACHI は KONTAKT および KONTAKT Player、KOMLETE KONTROL ソフトウェアで使用することができます。

KONTAKT および KONTAKT Player で使用する場合

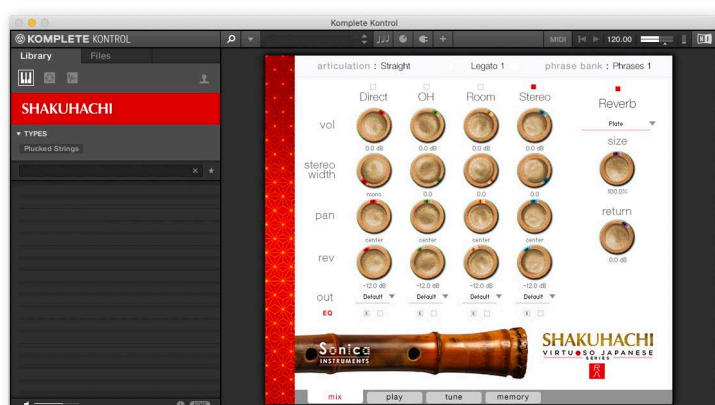
アクティベーションが完了すると、KONTAKT の LibraryBrowser に SHAKUHACHI のライブラリパネルが追加されます。音色を読み込んでお使いください。



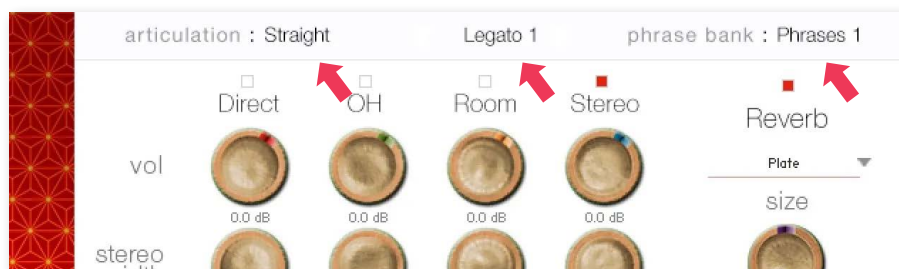
KOMLETE KONTROL で使用する場合

本製品は NKS に対応しているため、KOMLETE KONTROL や KOMLETE KONTROL キーボードと連携し、音色をプレビューしたり、設定をプリセットとして保存する事も可能です。KOMLETE KONTROL キーボードのノブコントローラーやブラウザ機能と共に、快適にお使いいただけます。

詳しくは [P.18 「KOMLETE シリーズのコントローラーパラメータ」](#) をご覧ください。



3つのモニター表示



ウィンドウ上部にあるこの3つの表示は mix ページ・play ページ・tune ページ・memory ページ全てで常に表示され、key switch で選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

articulation

key switch で選択されたアーティキュレーション (奏法) 名が表示されます。key switch は KONTAKT のキーボードで確認できます。

収録内容と Key Switch

Key Switch	Articulation Name	奏法名	Key Trigger Connection
C0	Straight	ロングトーン	
C#0	Tonguing	タンギングつきロングトーン	
D0	Grace Note	装飾音つきロングトーン	
D#0	Portamento Up	ポルタメント	
E0	Straight and Atari	アタリつきロングトーン	
F0	Sforzando	スフォルツァンド	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
F#0	Uchi and Oshi	打ち & 押し	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
G0	Yuri 1 (Vibrato Horizontal)	縦ユリ 1	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
G#0	Yuri 2 (Vibrato Vertical)	横ユリ 2	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
A0	Yuri 3 (Vibrato Vertical Long)	横ユリ 3	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
A#0	Iki-Yuri 1 (Vibrato with Breath)	息ユリ 1	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
B0	Iki-Yuri 2 (Vibrato with Breath Fast)	息ユリ 2	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
C1	Muraiki 1 (Breath FX1)	ムラ息 1	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
C#1	Muraiki 2A (Breath FX2A)	ムラ息 2A	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D1	Muraiki 2B (Breath FX2B)	ムラ息 2B	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D#1	Muraiki 3 (Breath FX3)	ムラ息 3	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
E1	Tamane (FX with Tongue Trill)	玉音	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能

Key Switch	Articulation Name	奏法名	Key Trigger Connection
F1	Karakara (FX with Finger)	カラカラ	
G1	Korokoro (FX with Finger)	コロコロ	
A1	Improvisation	インプロビゼーションフレーズ	

Legato

key switch で選択されたレガートの種類が表示されます。key switch は KONTAKT のキーボードで確認できます。

KeySwitch	ArticulationName	奏法名
F#1	Slow Legato	スローレガートアップ / ダウン
G#1	Fast Legato	ファストレガートアップ / ダウン
A#1	Atari Legato	アタリつきレガート

phrase bank

key switch で選択されたフレーズバンク名が表示されます。key switch は KONTAKT のキーボードで確認できます。

Key Switch	Phrase Bank Name	奏法名	フレーズ数
C6	Short Phrase 1	フレーズ集 1	8
C#6	Short Phrase 2	フレーズ集 2	8
D6	Short Phrase 3	フレーズ集 3	8
D#6	Short Phrase 4	フレーズ集 4	6
E5	Short Phrase 5	フレーズ集 5	5

MIDI キーボードのレイアウト

C0 ~ A1 : アーティキュレーション Key Switch Zone

F#1, G#1, A#1 : レガート Key Switch

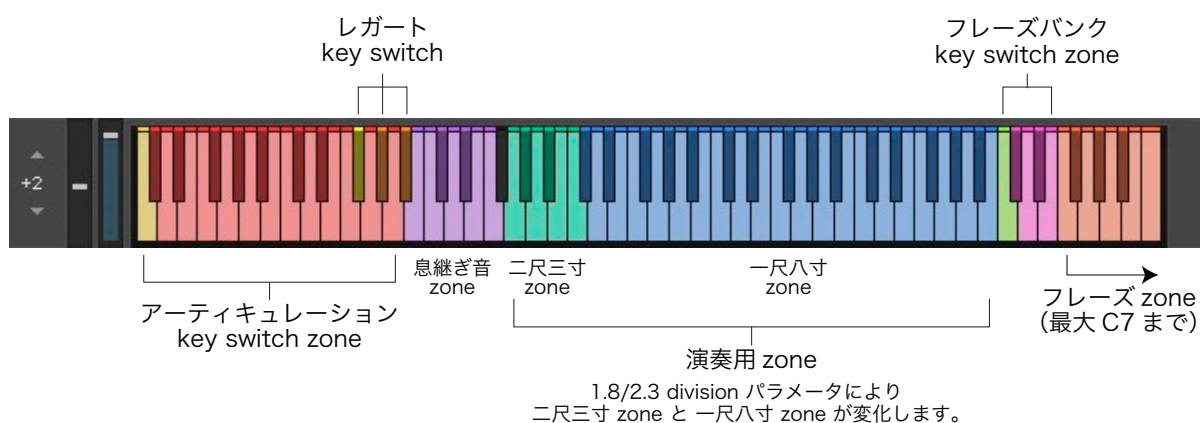
B1 ~ F2 : 息継ぎ音 zone

B1 ~ F2 : 演奏用 zone

B1 ~ F2 : フレーズバンク key switch zone

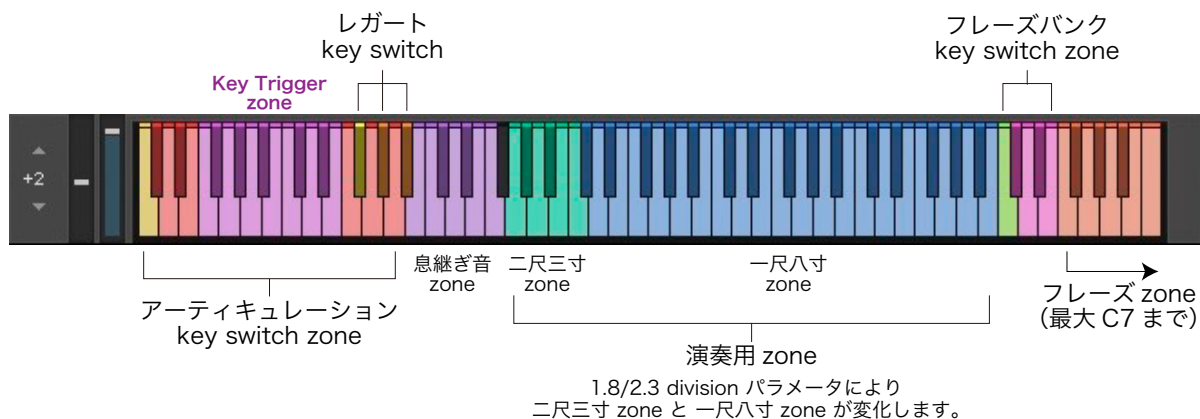
B1 ~ F2 : フレーズ zone

B1 ~ F2 : Key Trigger zone (Key Trigger Connection ON 時)



Key Trigger Connection ON 時

Key Trigger Connection について詳しくは 14 ページをご覧ください。



mix

このページでは基本的な音作りを行います。



AudioMixer

Direct、OH(OverHead)、Room3 種類のステレオマイクポジションとマルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされた StereoMix をミキシングできます。マルチマイクのチャンネルが ON の時は“Stereo” は Off になり、逆に“Stereo” が On の時はマルチマイク・チャンネルは Off になります。

vol : 各チャンネルの音量をコントロールします。

width : ステレオマイキングの広がり調整します。100% でオリジナルの広がり、0% でモノラルになります。

pan : 各チャンネルの panpot を調整します。

rev : 各チャンネルのコンボリューション・リバーブへのセンド量を調整します。

out : 各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いの DAW へマルチ・チャンネルの状態に取り込む時に便利です。

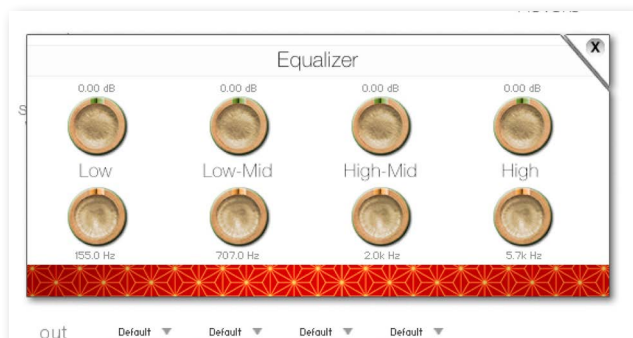


○各マイクのサウンドを、マルチアウトする

アウトプットを作成した後 (※)、KONTAKT のインターフェース右上の「!」 ボタンをクリックすると、SHAKUHACHI の out メニューに作成したアウトプットが反映されます。

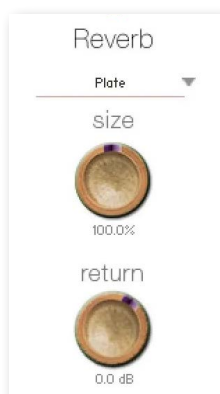
※アウトプットの作り方は、KONTAKT のマニュアルをご覧ください。

EQ: 各チャンネルに搭載された 4bandEqualizer を調整します。左ボタン [E] をクリックすると Equalizer ウィンドウがポップアップされます。右のボタンで Equalizer の ON/OFF を行います。



Reverb

能楽堂の IR(インパルスレスポンス)2 種を含む全 30 種類のコンボリユーションリバーブを選択できます。

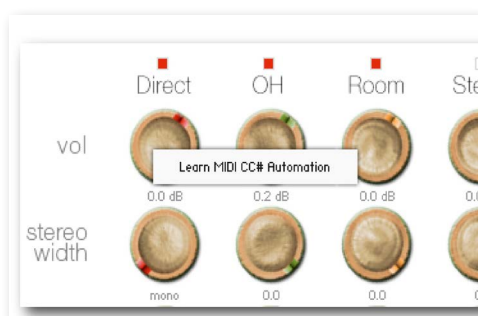


size : ReverbTime を調整します。

return : Reverb 成分の音量を調整します。

MIDICC#Learning 機能

すべてのコントロールノブは MIDICC (ControlChange) で個別にコントロールできます。



LearnMIDICC# の設定方法

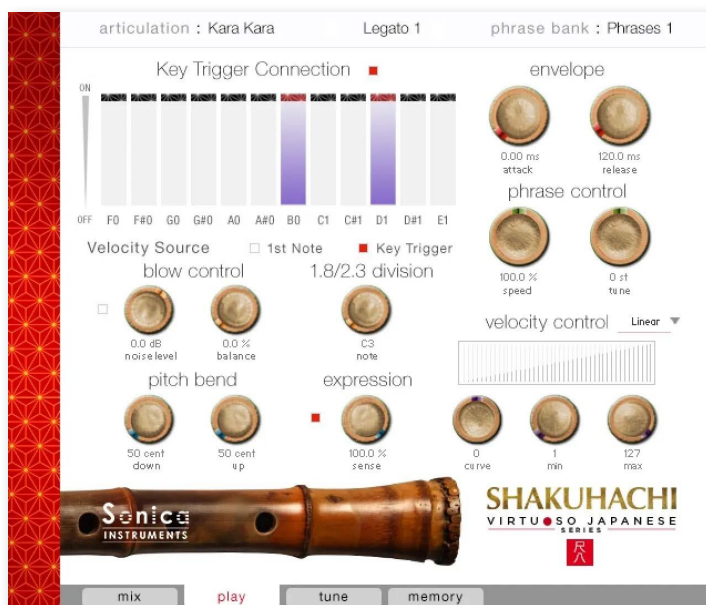
1. コントロールノブを右クリックし “LearnMIDICC#Automation” を表示する
2. コントロールに使いたい MIDI コントローラーの操作子を動かす
3. 設定完了

MIDICC#Automation のリムーブ

設定を削除するには、該当のコントロールノブを右クリックし “RemoveMIDIAutomationCC#xx” を選択してください。

play

このページでは尺八の演奏コントロールと音色のニュアンスを設定します。



envelope



Envelope

アタックタイムとリリースタイムを調整します。

phrase control



Phrase Control

5つのフレーズバンクから選択されたフレーズのスピードとファインチューンを調整します。

velocity control Linear

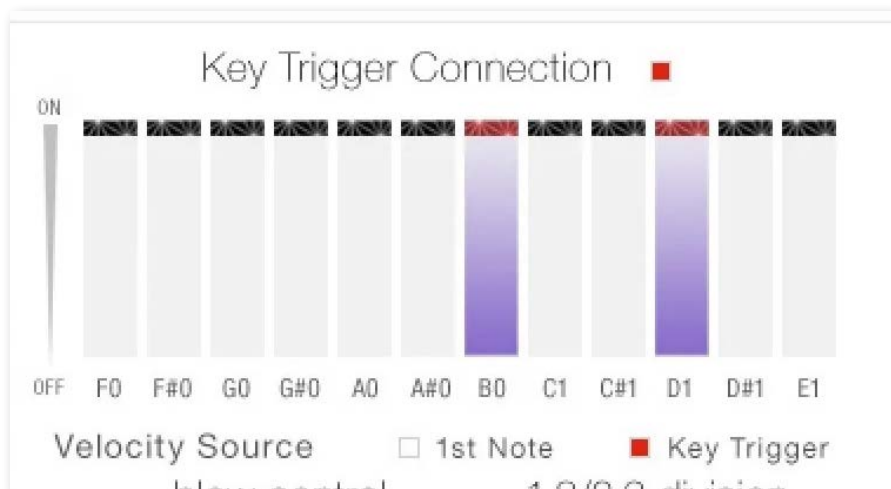


Velocity Control

ペロシティに対するサウンド変化をコントロールします。

- **curve type:** Velocity カーブを「Linear」「S-Curve」「Compound」「Fixed」「User」から選択します。
- **curve:** 選択したカーブに変化をつけます。
- **min:** 発音する Velocity の最小値を設定します。
- **max:** 発音する Velocity の最大値を設定します。

Key Trigger Connection

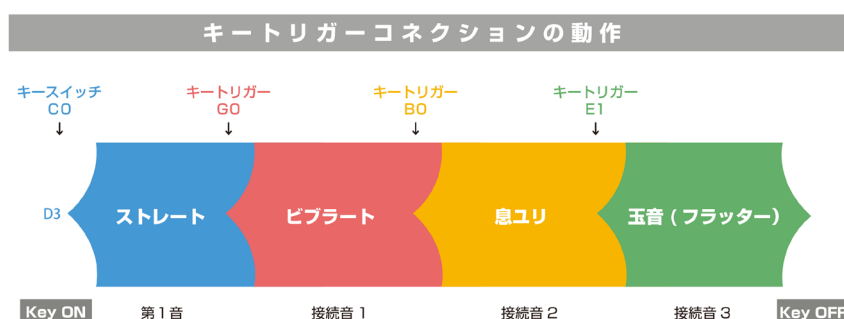


KeyTriggerConnection はこの製品の最も重要な機構といえます。

KeyTriggerConnection は、従来のキースイッチでの表現を遥かに凌ぐ、さく滑らかなアーティキュレーションコントロールを可能にします。弾いた音を途切れさせることなく、ビブラートやムラ息など多彩なアーティキュレーションへと自由に変化させていくことができるのです。

この動作は鍵盤を押している間、任意のアーティキュレーションへ何回でも接続することが出来ます。

またこの機能の ON-OFF はサスティンペダル (CC#64) に連動しており、KeyTriggerConnection を使いたい時に瞬時にアクティブにすることができ、エモーショナルな演奏表現に役立ちます。



音が途切れることなく、アーティキュレーションが滑らかに接続します。

Velocity Source

Key Trigger Connection によって接続されたアーティキュレーションのペロシティのソースを選択します。

1st Note : 最初のキーオン時のヴェロシティを受け継いで次のアーティキュレーションへ接続します。

Key Trigger : 接続するアーティキュレーションを Key Trigger のペロシティで発音します。接続時のニュアンスを付けるのに適しています。

Blow Speed



リードの息音のみの状態から力強い実音までコントローラーで変化させます。初期設定では Modulation Wheel(cc#1) と Breath Control(CC#2) が割り当てられています。BreathControl(CC#2) はアサインを外すことができません。

サンプルベースでありながらも、滑らかでダイナミックな息づかいを表現することができるため、さながらウィンドコントローラーのような感覚で鍵盤演奏が可能です。

noise level : 吹きノイズ量の調整

balance : 実音と吹きノイズのバランス調整

1.8/2.3 Division



低域をカバーする二尺三寸 (A 管) の尺八と代表的な一尺八寸 (D 管) の尺八の音域切り替えを調整します。(ロングトーン、タンギング、レガート奏法のみ)。二尺三寸の最高音域のノート名が表記されています。

Pitch Bend



ピッチベンドの幅をアップ・ダウン個別に調整出来ます。

Expression



ベロシティによる音色の変化度合いを調整します。

Tune

尺八の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチューニングでき、チューニングプリセットファイルとして保存出来ます。

保存したプリセットは Slot A, B, C 3つのスロットに Load することが出来ます。

articulation : Straight Legato 1 phrase bank : Phrases 1

Scale Tuning


+22	+10	+11	-8	+13	+7	+10	+20	-23	+22
C#4	D#4	F#4	G#4	A#4	C#5	D#5	F#5	G#5	A#5

+19	-15	+24	+8	+24	+6	+25	+17	-7	-14	-2	+2	+15	+20
C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5	G5	A5	B5

Reset All

Slot A ▼

humanise

 25 cent sense

-18	-2	+19	+20	-20	+17	-2
G#2	A#2	C#3	D#3	F#3	G#3	A#3

+8	-21	+16	+17	+17	-7	+10	-4	+12	-22
G2	A2	B2	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3

SHAKUHACHI VIRTUOSO JAPANESE SERIES

mix play **tune** memory

Reset All : 設定したチューニング値を全てクリアします。

Humanise : ノブを調整し、左隣のボタンを押すと、設定された数値内でランダム化されたチューニング値が瞬時に割り当てられます。

memory

このページでは、全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを個別に設定することができます。リストの Load ボタンをオフ（消灯）させることで、そのアーティキュレーションが無効になりメモリーサイズが軽減されます。

下段には使用頻度の高い MIDI コントロールチェンジナンバー、レガートセクターのキーナンバーを表示してあります。

articulation : Straight Legato 1 phrase bank : Phrases 1

Load	ARTICULATION	Load	ARTICULATION	Load	PHRASE BANK
■	C0 Straight	■	A#0 Iki-Yuri 1 (Vibrato with Breath)	■	C7 Short Phrase 1
■	C#0 Tonguing	■	B0 Iki-Yuri 2 (Vibrato with Breath Fast)	■	C#7 Short Phrase 2
■	D0 Grace Note	■	C1 Muraiki 1 (Breath FX1)	■	D7 Short Phrase 3
■	D#0 Portamento up	■	C#1 Muraiki 2A (Breath FX2A)	■	D#7 Short Phrase 4
■	E0 Straight and Atari	■	D1 Muraiki 2B (Breath FX2B)	■	E7 Short Phrase 5
■	F0 Sforzando	■	D#1 Muraiki 3 (Breath FX3)	Load	NOISE FX
■	F#0 Uchi & Oshi (Finger Effect)	■	E1 Tamane (FX with Tongue Trill)	■	B1-F2 Breath Noise
■	G0 Yuri 1 (Vibrato Horizontal)	■	F1 Karakara (FX with Finger)		
■	G#0 Yuri 2 (Vibrato Vertical)	■	G1 Korokoro (FX with Finger)		
■	A0 Yuri 3 (Vib. Vertical Long)	■	A1 Improvisation		

Blow Control — Mod Wheel (CC#1)
Breath Controller (CC#2)

Legato Selector
Slow Legato - F#1
Fast Legato - G#1
Atari Legato - A#1

Sonica INSTRUMENTS

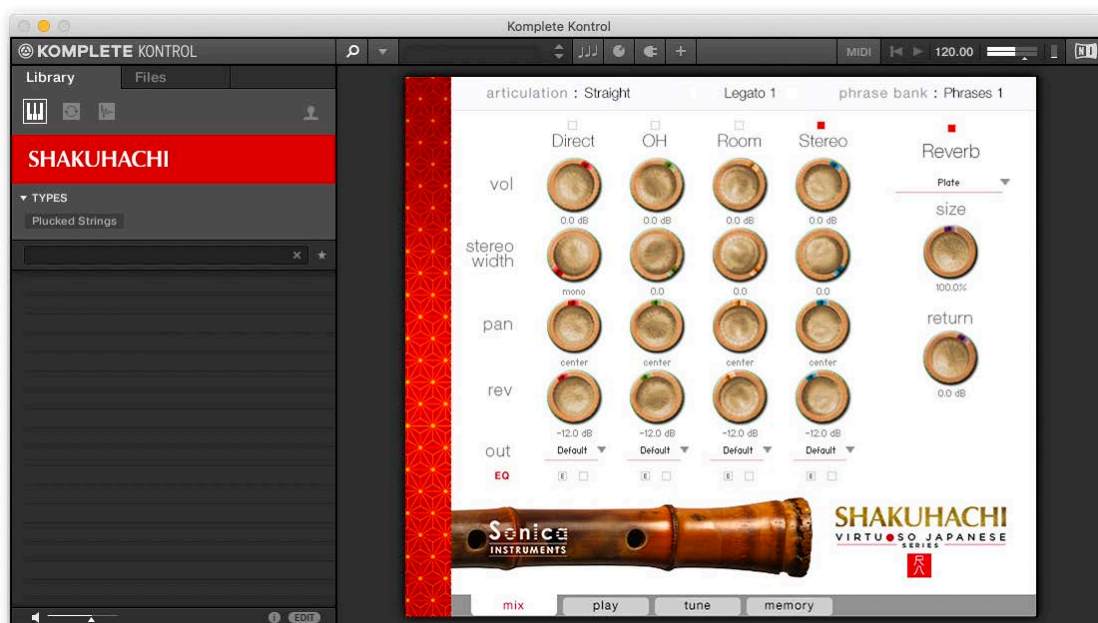
SHAKUHACHI
VIRTUOSO JAPANESE
SERIES

mix play tune memory

KONTROL シリーズのコントローラーパラメーター

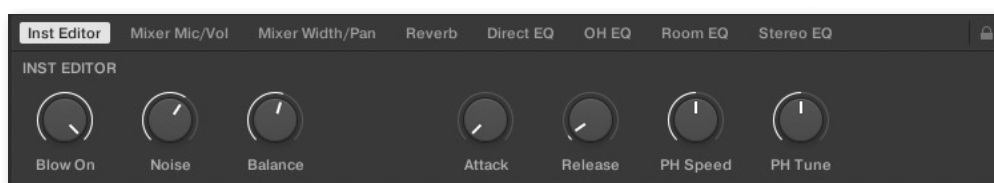
KOMPLETE KONTROL や KONTROL S シリーズ (MIDI キーボード) では、より直感的にコントローラーパラメーターを調整可能です (各パラメーターについては、前述の項目をご参照ください)。

KOMPLETE KONTROL ではコントロールボタンをクリックすると、パラメーターが表示されます。



Inst Editor

Instrument Editor のパラメーターをコントロールします。



Mixer Mic/Vol

Audio Mixer のパラメーターをコントロールします。使用するマイクチャンネルの選択と、チャンネルの音量を調整します。



Mixer Width/Pan

Audio Mixer のパラメーターをコントロールします。各チャンネルの Width と Pan を調整します。



Reverb

各チャンネルからリバーブへのセンド量と、Reverb のパラメーターコントロールします。



Direct EQ

Direct チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



OH EQ

OH チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



Room EQ

Room チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



Stereo EQ

Room チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。





Credits

Production, Recording, Editing and Kontakt Development: Sonica Instruments
Shakuhachi Played by Ray Jin

Executive Producer: Tomohiro Harada
Kontakt Programming: Rataro. M (Think Master Inc.) Marketing, Translation & Production Consulting:
GUI Designer: Yujin Ono
Craig Leonard Audio Editing: Yoshitaka Koyama

Recording Engineer: Keigo Sonoda (Pastoral Sound) Photography: Takashi Matsuda
Music Video: Yasuhiro Nakashima
User's Manual: Yoshifumi Yamaguchi (LRCOT)

Copyright © 2021 Sonica Inc. All rights reserved.
SonicaInstruments
<https://sonica.jp/instruments/>



この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ (SonicaInc.) に帰属します。
複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。
また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.